

I&Iプラン21

市川市 第二次基本計画
第一次実施計画
(2011～2013年度)

総合評価書



ICHIKAWA

目 次

第1編 総括

第1章 第一次実施計画について	1
第2章 市民意向調査について	3
第3章 第一次実施計画の事業費及び達成状況について	7
第4章 基本目標別考察	8
基本目標1 真の豊かさを感じるまち	8
基本目標2 彩り豊かな文化と芸術を育むまち	12
基本目標3 安全で快適な魅力あるまち	14
基本目標4 人と自然が共生するまち	18
基本目標5 市民と行政がともに築くまち	20

第2編 事業別実績報告

第1章 個表の見方について	22
第2章 実績報告	25

(大 分 類) (事 業 名) (ページ)

基本目標1 真の豊かさを感じるまち

保健・医療	1. 東京ベイ・浦安市川医療センター整備事業	25
	2. 妊婦乳児健康診査事業	26
	3. 健康診査事業	27
	4. 予防接種事業	28
子育て	5. 児童虐待対策事業	30
	6. 保育園整備計画事業	31
	7. 子ども医療費助成事業	32
地域福祉	8. 地域福祉計画推進事業	33
	9. 社会福祉事業	34
	10. 地域ケアシステム推進事業	35
障害者福祉	11. 障害者雇用事業	36
	12. 地域生活支援事業	37
	13. 身体障害者地域リハビリテーション体制整備事業	38
	14. 障害者地域生活支援センター等管理運営事業	39
高齢者福祉	15. 介護保険特別会計	40
	16. 特別養護老人ホーム施設整備建設補助事業	41
社会保障・住まい	17. 国民健康保険特別会計	42
	18. 市営住宅営繕事業	43
スポーツ	19. スポーツ施設整備・改修事業	44
子どもの教育	20. 学校版環境 ISO 認定事業	45
	21. 学校給食費負担軽減事業	46
	22. コミュニティクラブ事業	47
	23. 小学校・中学校耐震改修事業	48
	24. 少人数学習等担当補助教員事業	49

(大 分 類)	(事 業 名)	(ページ)
	25. 私立幼稚園等補助金	50
	26. 放課後保育クラブ運営事業	51
生涯学習	27. 公民館主催講座活動事業	52
	28. 蔵書管理効率化事業	53
雇用・労働	29. 若年者等就労支援事業	54
	30. 勤労者労働相談事業	55
消費生活	31. 消費生活センター相談及び啓発事業	56
人権・男女共同参画	32. 市川市 DV 対策事業	57
	33. 男女共同参画センター講座事業	58
平和	34. 平和啓発事業	59
	35. 姉妹都市等交流事業	60
基本目標 2 彩り豊かな文化と芸術を育むまち		
芸術・文化	36. 仮称文学館整備事業	61
	37. 「市川の文化人展」事業	62
文化的資産	38. 市史編さん事業	64
文化の創造	39. 市民まつり負担金	66
	40. シティール事業(いちかわ観光・物産案内事業)	67
	41. 国際交流推進事業	68
基本目標 3 安全で快適な魅力あるまち		
危機管理・消防	42. 防災用品備蓄事業	69
	110. 防災計画策定事業	70
	111. 放射能対策事業	71
	43. 指令業務共同化及び無線デジタル化事業	72
治水	44. 都市基盤河川改修事業	73
	45. 排水路整備事業	74
	46. 排水施設整備事業	75
防犯	47. 防犯対策事業	76
交通安全	48. まごころ道路整備事業	77
	49. 狭あい道路対策事業	78
	50. 橋りょう補修事業	79
	51. 交通安全施設整備事業	80
	52. 自転車安全利用啓発事業	81
ユニバーサルデザイン	53. 人にやさしい道づくり重点地区整備事業	82
	54. 公民館営繕事業	83
道路・交通	55. 都市計画道路 3・4・18号整備事業	84
	56. 京成本線立体化事業	86
	57. 電線類地中化事業	87
	58. 駐輪場整備事業	88
	59. コミュニティバス運行事業	89

(大分類)	(事業名)	(ページ)
	60. 道路台帳デジタル化整備事業	90
下水道	61. 下水道事業特別会計	91
住宅・住環境	62. 耐震診断・改修助成事業	92
	63. 住宅防災リフォーム推進事業	93
	64. 本八幡駅北口A地区市街地再開発事業	94
公共施設	65. 公共施設耐震改修事業	96
	66. 庁舎整備事業	97
土地利用	112. 市街化調整区域の土地利用	98
	67. 塩浜地区整備事業	100
景観	68. 中山参道地区街なみ環境整備事業	101
	69. 都市景観形成事業	102
商工業	70. 商店街活性化補助事業	103
	71. 中小企業融資制度等預託金	104
	72. 地方卸売市場事業特別会計	105
都市農業	73. 都市農業振興支援事業	106
	74. 市川市農産物ブランド化推進事業	107
	75. 体験農園事業	108
水産業	76. 市川漁港整備事業	109
	77. 水産業振興負担金（うち魚食文化フォーラム分）	110
基本目標4 人と自然が共生するまち		
自然環境	78. 生物多様性地域戦略・自然環境保全再生指針事業	111
	79. 環境学習推進事業	112
公園・緑地	80. 国府台緑地整備事業	113
	81. 小塚山公園整備拡充事業	114
	82. ガーデニング・シティ いちかわ	116
	83. 水と緑の回廊事業	118
河川・水辺	84. 三番瀬保全再生事業	119
	85. 国分川調節池上部活用事業	120
地球環境	86. 地球温暖化対策推進事業	121
	87. 住宅用太陽光発電システム設置助成事業	122
生活環境	88. 大気常時監視整備事業	123
	89. 市民マナー条例推進事業	124
資源循環型社会	90. ごみ発生抑制等啓発事業	125
	91. 分別収集促進事業	126
	92. クリーンセンター延命化事業	127
基本目標5 市民と行政がともに築くまち		
協働・市民参加	93. マーケティング事業	128
情報の発信・提供	94. 市ホームページ管理運営事業	129
	95. 保存文書整備事業	130

(大 分 類)	(事 業 名)	(ページ)
	96. 情報公開・個人情報保護事業	131
地域コミュニティ・市民活動	97. 防犯灯設置事業	132
	98. 市民活動団体支援制度（1%支援制度）運営事業	133
政策展開	99. e-モニター制度運営事業	134
	100. 法制実務研修事業	135
	101. 市民意向調査	136
行政体制	102. 職員研修事業	137
窓口・相談機能	103. 総合市民相談・案内事業	138
財政運営	104. 財政調整基金積立金	139
	105. 納税環境整備事業	140
広域行政	106. 広域行政推進事業	141
情報化	107. 住民票等コンビニ交付事業	142
	108. 情報システム再構築事業	143
	109. セキュリティ構築事業	144
〔資料〕事業別一覧表		145

第1編 総括

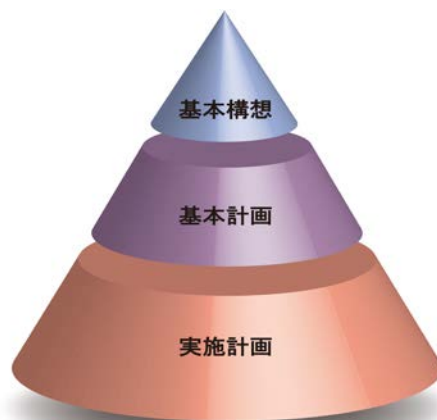
第1章 第一次実施計画について

1. 位置づけ

市川市総合計画は、基本構想が平成12年12月に市議会の議決を経て定められ、基本計画は平成13年3月に策定された。基本構想は、「ともに築く 自然とやさしさがあふれる 文化のまち いちかわ」を将来都市像として定め、21世紀の第1・四半世紀（概ね2025年：平成37年）を目標年度としている。

基本計画は、基本構想を具現化するための基本的な施策を定めるもので、平成13年度（2001年度）から平成22年度（2010年度）の10年間を計画期間とする第一次基本計画のもと、これまでに第一次実施計画（計画期間2001～2005年度）、第二次実施計画（2006～2008年度）、第三次実施計画（2008～2010年度）を推進してきた。

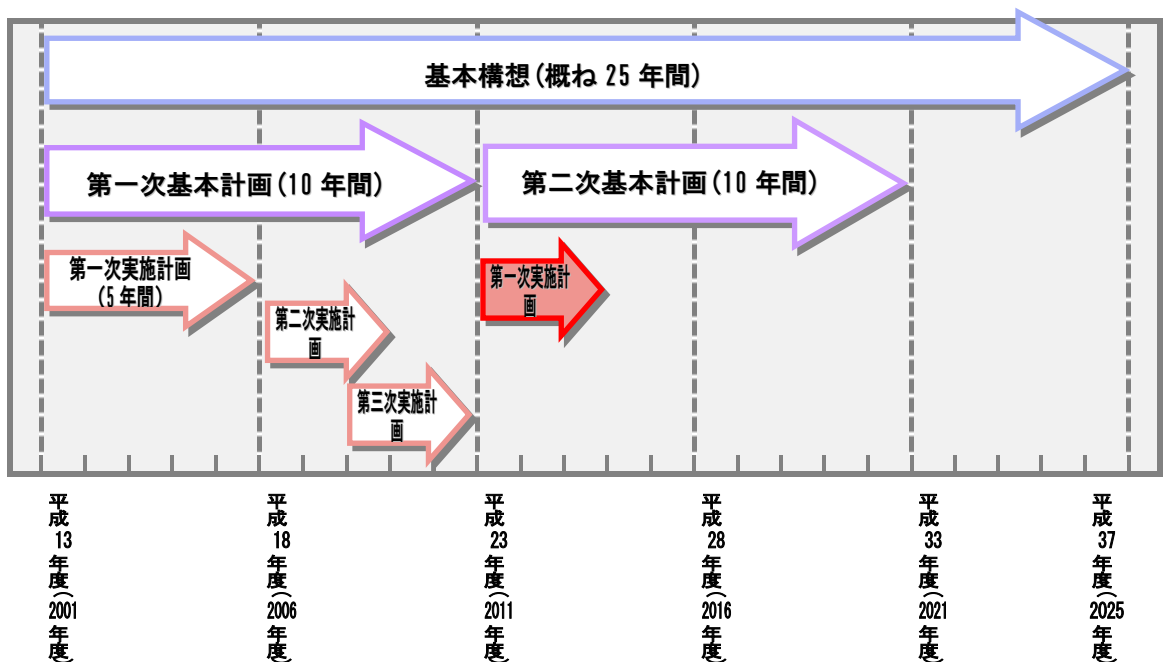
さらに、平成23年度（2011年度）から平成32年度（2020年度）を計画期間とする第二次基本計画のもとで施策を実現するための事業を定めた、第一次実施計画（計画期間2011～2013年度）を策定し推進してきた。



基本構想（計画期間概ね25年）
●本市の目指すべき将来都市像や基本目標を定めています

基本計画（計画期間10年）
●基本構想を具現化するための基本的な施策を定めています

実施計画（計画期間3年）
●基本計画に示された施策を実現するための具体的な事業を定めています



2. 基本的な考え方

基本構想では、将来都市像を実現するために、「真の豊かさを感じるまち」「彩り豊かな文化と芸術を育むまち」「安全で快適な魅力あるまち」「人と自然が共生するまち」「市民と行政がともに築くまち」の5つの基本目標を定めている。

そして、第二次基本計画では、「保健・医療」等の45の施策(大分類)のもと、中分類102、小分類273に体系化した。

第一次実施計画事業を選定するにあたっては、施策(大分類)を支える中核的な事業や、今後3年間に都市の魅力を高めるために活用できる都市基盤の整備に関する事業、全国に先駆けて行うなど、市川市を特徴づける事業などについて、中分類ごとに1事業選定することを基本に据えた。

また、耐震対策、エネルギー問題など、今日的な問題へ対応する事業についても選定し、第一次実施計画事業として112事業を位置づけた。

実施計画事業は、それぞれの達成度を測るために、事業の活動や成果を示す指標などを表す「数値目標等」を定めている。

第2章 市民意向調査について

1. 調査の概要

(1) 目的

I&I プラン21(市川市総合計画)に基づく第二次基本計画(平成23～32年度)の進捗管理及び第二次実施計画(平成26～28年度)の策定に活用することを目的として、市民の意向を調査した。

(2) 調査の方法

①調査対象：市川市に居住する20歳以上の男女3,000人を住民基本台帳から無作為抽出した。

②調査方法：郵送による調査票の発送・回収とした。

③調査時期：平成25年9月9日から9月24日までとした。

④調査内容：

1. 回答者の属性(性別、年齢、職業、市に住んでいる期間、同居人、居住地)
2. 第一次実施計画事業(112事業)ごとの質・量の感じ方
(期待以上、期待通り、足りない、やり過ぎ)
3. 第二次基本計画施策(45分類)ごとの市の施策に対する満足度
(はい、いいえ、わからない)
4. 自由意見

(3) 配布・回収結果

- ①配布数 : 3,000 票
②有効回答数 : 868 票
③有効回答率 : 28.9%

(4) その他

1. 第二次基本計画の策定にあたって実施した平成22年度市民意向調査の結果を、「前回」として比較している。

(参考)平成22年度市民意向調査

①調査対象：市川市に居住する20歳以上の男女3,000人を住民基本台帳から無作為抽出した。

②調査方法：郵送による調査票の発送・回収とした。

③調査時期：平成22年8月2日から8月17日までとした。

2. 本報告書において掲載した回答の割合については、それぞれ小数点第二位を四捨五入した結果を表示しているため、合計が100%にならない場合がある。

2. 調査結果の概要

(1) 施策(大分類)

第二次基本計画（平成23年度～平成32年度）に定めた45の大分類ごとに、市の施策に対する満足度を調査した。

【質問】

市の「施策」に満足していますか。（45の大分類ごと）

【回答】

・はい ・いいえ ・わからない

（それぞれ当てはまるもの1つに○をつける）

●総合

- ・はい（満足）と回答した割合は、前回調査（平成22年度）より31.3ポイント（18.0ポイント→49.3ポイント）増加した。
- ・いいえ（不満足）と回答した割合は、前回調査（平成22年度）より0.8ポイント（25.5ポイント→24.7ポイント）減少した。
- ・わからないと回答した割合は、前回調査（平成22年度）より30.5ポイント（56.5ポイント→26.0ポイント）減少した。

●年齢別

- ・はい（満足）と回答した割合は、30歳代が最も高く（53.4%）、20歳代が最も低い（44.0%）。
- ・いいえ（不満足）と回答した割合は、50歳代が最も高く（26.1%）、30歳代が最も低い（22.1%）。
- ・わからないと回答した割合は、20歳代が最も高く（31.6%）、40歳代が最も低い（23.6%）。

●地区別

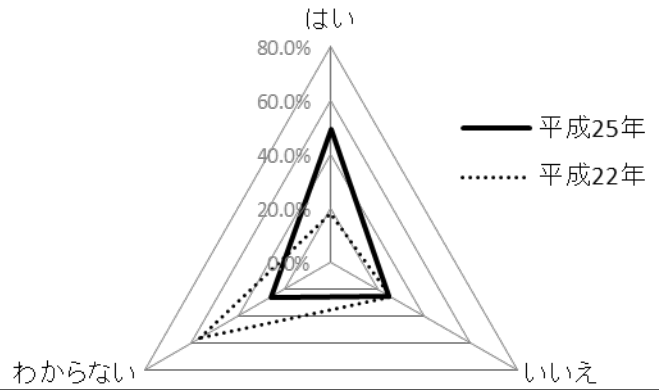
- ・はい（満足）と回答した割合は、八幡地区が最も高く（54.6%）、行徳地区が最も低い（43.6%）。
- ・いいえ（不満足）と回答した割合は、宮久保地区が最も高く（28.6%）、本八幡南地区が最も低い（20.7%）。
- ・わからないと回答した割合は、行徳地区が最も高く（30.9%）、中山地区が最も低い（21.6%）。

●居住年数別

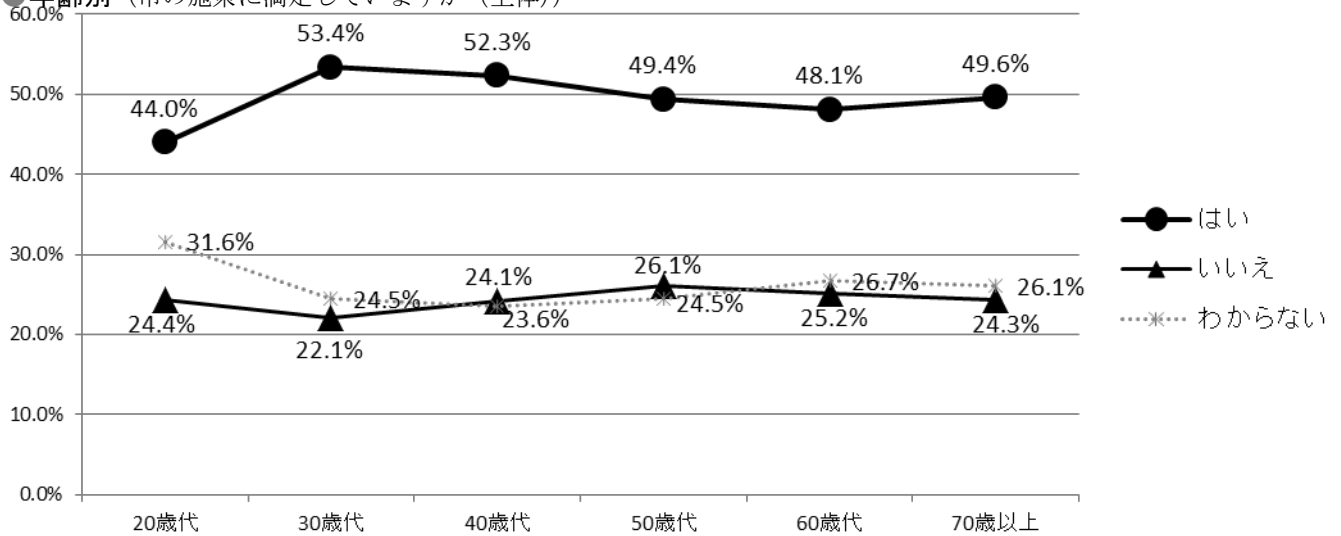
- ・はい（満足）と回答した割合は、30年以上が最も高く（50.7%）、5～10年未満が最も低い（46.6%）。
- ・いいえ（不満足）と回答した割合は、5年未満が最も高く（25.6%）、5～10年未満が最も低い（23.6%）。
- ・わからないと回答した割合は、5～10年未満が最も高く（29.9%）、30年以上が最も低い（24.2%）。

●総合（市の施策に満足していますか（全体））

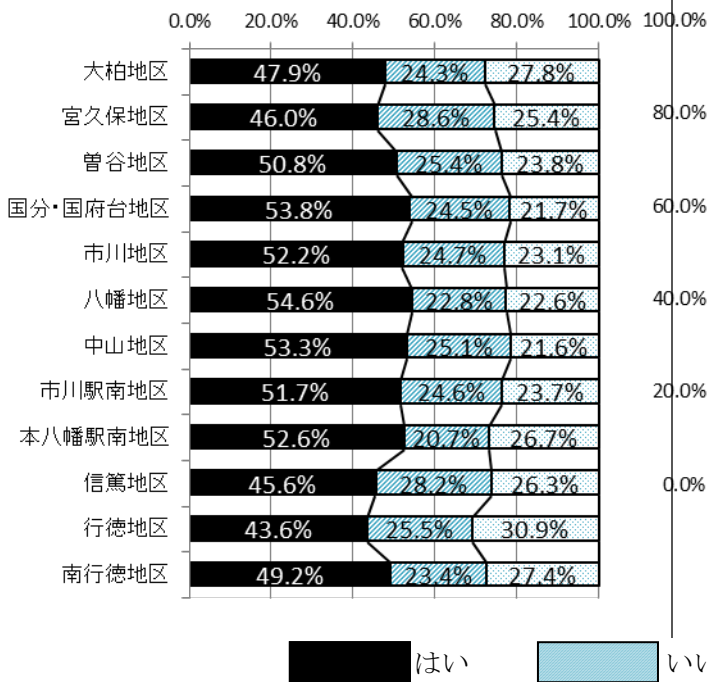
項目	平成25年	平成22年
はい	49.3%	18.0%
いいえ	24.7%	25.5%
わからない	26.0%	56.5%
計	100.0%	100.0%



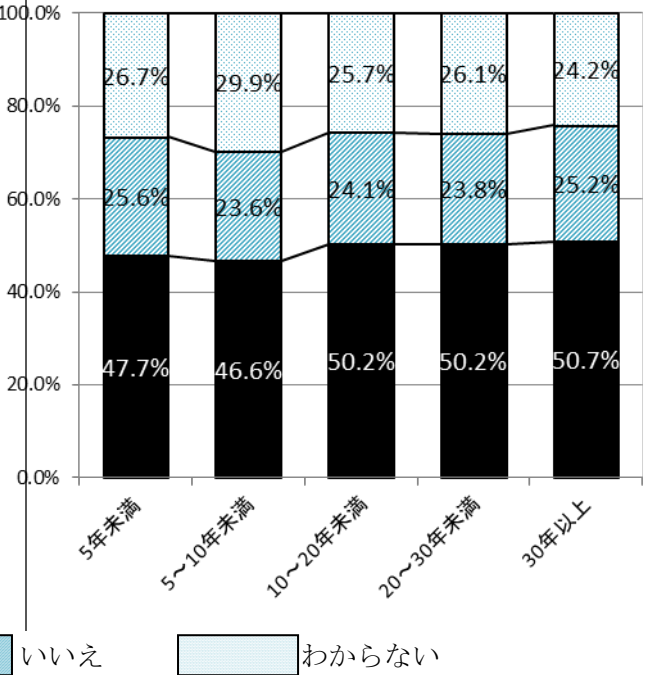
●年齢別（市の施策に満足していますか（全体））



●地区別（市の施策に満足していますか（全体））



●居住年数別（市の施策に満足していますか（全体））



(2) 第一次実施計画事業

第一次実施計画（平成23年度～平成25年度）に位置づけた112の事業ごとに、事業の質と量の感じ方を調査した。

【質問】

ご自身が抱いていた「施策の目標」への期待の度合と比べて「実施計画事業」の質・量をどう感じましたか。（112事業ごと）

【回答】

・期待以上 ・期待通り ・足りない ・やりすぎ
（それぞれ当てはまるもの1つに○をつける）

●期待以上

- ・期待以上と回答した割合の高い事業は下記のとおりであった。
 - 住民票等コンビニ交付事業（9.0%）
 - 小学校・中学校耐震改修事業（8.8%）
 - 学校給食費負担軽減事業（7.8%）
 - 東京ベイ・浦安市川医療センター整備事業（5.8%）

●期待通り

- ・期待通りと回答した割合の高い事業は下記のとおりであった。
 - 保存文書整備事業（80.6%）
 - 情報公開・個人情報保護事業（76.3%）
 - セキュリティ構築事業（75.1%）
 - クリーンセンター延命化事業（74.7%）

●足りない

- ・足りないと回答した割合の高い事業は下記のとおりであった。
 - 若年者等就労支援事業（52.8%）
 - 勤労者労働相談事業（49.5%）
 - 保育園整備計画事業（48.0%）
 - 防災用品備蓄事業（47.5%）

●やりすぎ

- ・やりすぎと回答した割合の高い事業は下記のとおりであった。
 - 本八幡駅北口A地区市街地再開発事業（16.8%）
 - 仮称文学館整備事業（16.7%）
 - 市史編さん事業（15.2%）
 - 職員研修事業（14.6%）

第3章 第一次実施計画の事業費及び達成状況について

1. 年度別事業費

第一次実施計画 112 事業の事業費は次のとおりである。

(単位：千円)

	事業数	平成 23 年度 実績額 (計画額) 対計画額・執行率	平成 24 年度 実績額 (計画額) 対計画額・執行率	平成 25 年度 実績額 (計画額) 対計画額・執行率	3 カ年計画 合計額
真の豊かさを感じるまち	35	16,729,106 (17,482,173)	17,093,039 (18,162,707)	17,621,013 (17,302,061)	51,443,158 (52,946,941)
		△753,067 95.7%	△1,069,668 94.1%	318,952 101.8%	△1,503,783 97.2%
彩り豊かな文化と芸術を育むまち	6	70,420 (74,859)	139,664 (150,803)	30,294 (49,068)	240,378 (274,730)
		△4,439 94.1%	△11,139 92.6%	△18,774 61.7%	△34,352 87.5%
安全で快適な魅力あるまち	39	8,593,477 (9,131,498)	11,142,536 (12,530,422)	7,201,739 (9,494,644)	26,937,752 (31,156,564)
		△538,021 94.1%	△1,387,886 88.9%	△2,292,905 75.9%	△4,218,812 86.5%
人と自然が共生するまち	15	2,653,873 (3,629,529)	6,116,854 (6,101,833)	3,291,472 (3,731,479)	12,062,199 (13,462,841)
		△975,656 73.1%	15,021 100.2%	△440,007 88.2%	△1,400,642 89.6%
市民と行政がともに築くまち	17	611,858 (623,441)	1,599,914 (674,529)	266,343 (572,388)	2,478,115 (1,870,358)
		△11,583 98.1%	925,385 237.2%	△306,045 46.5%	607,757 132.5%
合 計	112	28,658,734 (30,941,500)	36,092,007 (37,620,294)	28,410,861 (31,149,640)	93,161,602 (99,711,434)
		△2,282,766 92.7%	△1,528,287 95.9%	△2,738,779 91.2%	△6,549,832 93.4%

2. 達成状況について（自己評価）

第一次実施計画 112 事業の達成状況評価は次のとおりである。

	十分達成した	概ね達成した	やや不十分だった	不十分だった
真の豊かさを感じるまち	29 事業	1 事業	2 事業	3 事業
彩り豊かな文化と芸術を育むまち	5 事業	—	1 事業	—
安全で快適な魅力あるまち	27 事業	4 事業	2 事業	6 事業
人と自然が共生するまち	9 事業	1 事業	3 事業	2 事業
市民と行政がともに築くまち	12 事業	4 事業	1 事業	—
合 計	82 事業 (73.2%)	10 事業 (8.9%)	9 事業 (8.0%)	11 事業 (9.8%)

第4章 基本目標別考察

基本目標1 真の豊かさを感じるまち

私たちは、人生のどの時代においても、誰もが夢と活力に満ちた真の豊かさを実感できるようなまちをつくりまします。

○施策の方向

- (1)健康で安心して暮らせる、地域福祉の充実したまちをつくりまします
- (2)豊かな人間性を育み、創造力あふれる子どもを育てまします
- (3)生きがいを見いだす、いきいきとした生涯学習社会をつくりまします
- (4)誰もが安心して働くことができる環境をつくりまします
- (5)人権を尊重し、世界平和に貢献まします

○大分類別 市民意向調査結果

大分類	市民満足度 (前回平成22年調査結果との増減差)		
	満足している	満足していない	わからない
保健・医療	61.3%(↑35.4%)	17.6%(↓18.2%)	21.1%(↓17.2%)
子育て	39.6%(↑30.1%)	30.1%(↑2.7%)	30.3%(↓32.8%)
地域福祉	42.0%(↑30.6%)	26.7%(↓2.7%)	31.3%(↓27.9%)
障害者福祉	37.7%(↑28.9%)	27.6%(↑2.9%)	34.8%(↓31.7%)
高齢者福祉	36.5%(↑27.3%)	34.3%(↑9.9%)	29.2%(↓37.2%)
社会保障・住まい	47.4%(↑34.5%)	26.8%(↓14.8%)	25.8%(↓19.7%)
スポーツ	50.7%(↑36.4%)	27.2%(↓1.4%)	22.1%(↓35.0%)
子どもの教育	49.2%(↑30.7%)	21.7%(↓5.4%)	29.1%(↓25.3%)
生涯学習	59.6%(↑48.5%)	18.5%(↓6.3%)	21.9%(↓42.2%)
雇用・労働	30.9%(↑26.2%)	42.6%(↑8.6%)	26.5%(↓34.8%)
消費生活	51.2%(↑43.1%)	21.7%(↑2.9%)	27.1%(↓46.0%)
人権・男女共同参画	44.2%(↑27.1%)	22.5%(↑7.3%)	33.4%(↓34.3%)
平和	53.6%(↑35.3%)	18.9%(↑7.7%)	27.5%(↓43.0%)

■市民評価 (市の取り組みに対する満足度)

市の取り組みに対する満足度は、全ての大分類において、「満足している」人の割合が前回の調査よりも高くなった。しかし、「子育て」「障害者福祉」「高齢者福祉」「雇用・労働」では30%代と、満足している市民の割合が低い。

○大分類 事業費等

大分類	事業数	事業費			達成状況評価(事業数)			
		計画額(千円)	実績額(千円)	差額(実績-計画) 執行率	十分 達成	概ね 達成	やや 不十分	不十分
保健・医療	4	11,436,355	11,095,936	△340,419 97.0%	3	1		
子育て	3	3,884,565	4,891,334	1,006,769 125.9%	3			
地域福祉	3	221,037	215,297	△5,740 97.4%	3			
障害者福祉	4	1,644,684	1,291,769	△352,915 78.5%	3			1
高齢者福祉	2	9,240,918	9,426,919	186,001 102.0%	2			
社会保障・住まい	2	14,726,303	13,545,632	△1,180,671 92.0%			1	1
スポーツ	1	463,775	211,509	△252,266 45.6%	1			
子どもの教育	7	10,972,754	10,603,368	△369,386 96.6%	7			
生涯学習	2	223,488	45,616	△177,872 20.4%	1			1
雇用・労働	2	5,836	5,515	△321 94.5%	1		1	
消費生活	1	53,228	49,066	△4,162 92.2%	1			
人権・男女共同参画	2	33,756	33,740	△16 100.0%	2			
平和	2	40,242	27,457	△12,785 68.2%	2			
計	35	52,946,941	51,443,158	△1,503,783 97.2%	29	1	2	3

■事業費

基本目標1全体での執行率は97.2%であった。しかし、「スポーツ」及び「生涯学習」においては、執行率は45.6%、20.4%と低い。

「スポーツ」において執行率が低かった理由は、国府台野球場の夜間照明設備の新設を見送った(19. スポーツ施設整備・改修事業)ことによる。

「生涯学習」において執行率が低かった理由は、IC タグによる蔵書管理が市川駅南口図書館のみに留まり他の図書館に推進できなかった(28. 蔵書管理効率化事業)ことによる。

■達成状況(自己評価)

全体では86%の事業が「十分達成」「概ね達成」との評価だが、2事業で「やや不十分」、3事業で「不十分」となった。

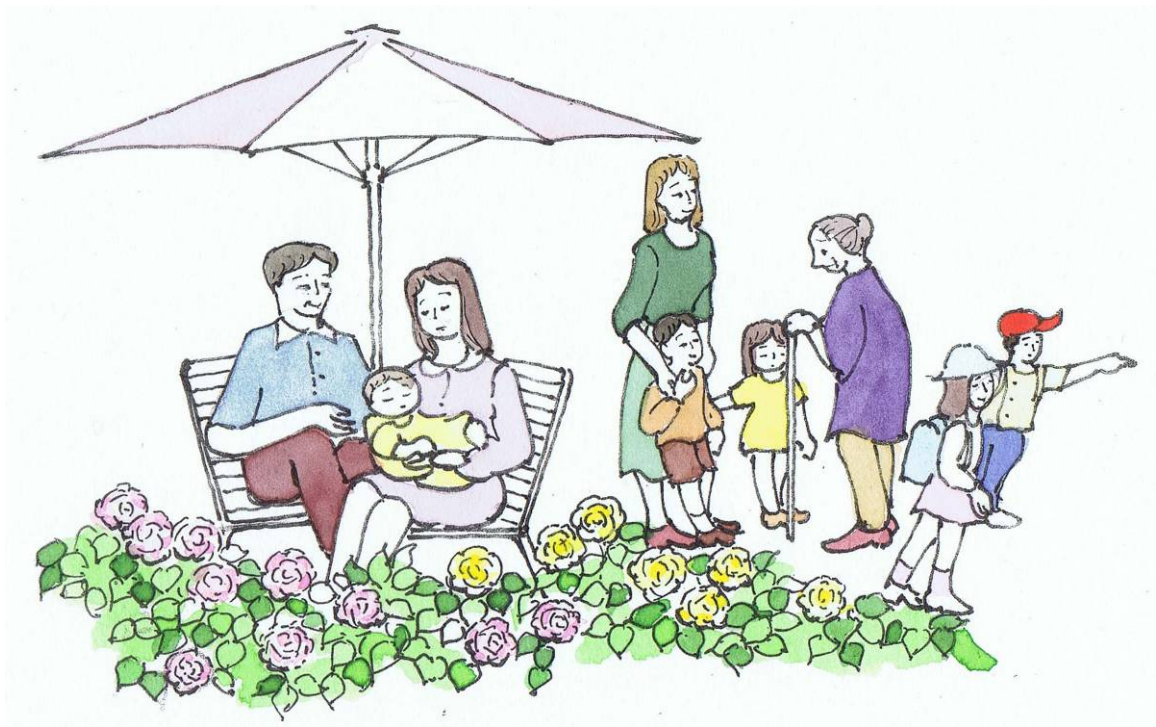
「やや不十分」と評価した理由は、優先すべき営繕事業を実施計画期間中に整理しそれに従い事業を実施したため当初の計画との差異が生じた(18. 市営住宅営繕事業)、数値目標の「ジョブ・サポート・いちかわ」の利用者数が当初の計画よりも26%少なかった(29. 若年者等就労支援事業)

ためである。

また、「不十分」と評価した理由は、広報掲載等で視覚障害者ガイドヘルパー講座の受講者募集に努めたが、新規の受講者が少なく登録者も当初の計画よりも67%少なかった(12. 地域生活支援事業)、数値目標の特定健康診査の受診率が当初の計画よりも22.4%低かった(17. 国民健康保険特別会計)、ICタグによる蔵書管理が市川駅南口図書館のみに留まり他の図書館に推進できなかった(28. 蔵書管理効率化事業)ためである。

【基本目標1 真の豊かさを感じるまち の考察】

- ・基本目標1の13施策は、対象となる年代が限られている施策が多い。満足度を高めるには市の事業の内容をすべての年代に積極的に公表し、理解してもらうことが必要である。
- ・「子育て」「障害者福祉」「高齢者福祉」「雇用・労働」の施策では、市の達成状況評価で「十分達成した」事業が多かったが、市民意向調査では「満足している」と回答した人の割合が30%代と低かった。
- ・第二次実施計画では、満足度が低い「子育て」「障害者福祉」「雇用・労働」の施策は、課題解決のために複数の事業で対応していく必要がある。また、「高齢者福祉」については、介護予防において一次予防及び二次予防を推進していく必要がある。



基本目標2 彩り豊かな文化と芸術を育むまち

私たちは、日々の暮らしの中に「ゆとり」、「やすらぎ」、「楽しみ」、「遊び」などを求めます。そして、それらを生み出すため、暮らしの中に彩りのある文化と芸術を育みます。

○施策の方向

- (1) 芸術・文化を身近に感じるまちをつくります
- (2) 文化的資産や伝統文化をまちの活性化に活かします
- (3) 暮らしの中で「まちの文化」を育みます

○大分類別 市民意向調査結果

大分類	市民満足度 (前回平成22年調査結果との増減差)		
	満足している	満足していない	わからない
芸術・文化	54.7%(↑29.3%)	17.5%(↑1.9%)	27.8%(↓31.2%)
文化的資産	54.5%(↑28.4%)	17.8%(↑4.5%)	27.7%(↓32.9%)
文化の創造	58.3%(↑41.4%)	19.7%(↑3.0%)	22.1%(↓44.3%)

■市民評価 (市の取り組みに対する満足度)

市の取り組みに対する満足度は、全ての大分類において、「満足している」人の割合が前回の調査よりも高くなった。

○大分類別 事業費等

大分類	事業数	事業費			達成状況評価(事業数)			
		計画額(千円)	実績額(千円)	差額(実績-計画)執行率	十分達成	概ね達成	やや不十分	不十分
芸術・文化	2	123,629	123,018	△611 99.5%	2			
文化的資産	1	94,683	66,753	△27,930 70.5%			1	
文化の創造	3	56,418	50,607	△5,811 89.7%	3			
計	6	274,730	240,378	△34,352 87.5%	5		1	

■事業費

基本目標2全体での執行率は87.5%とやや低い。

「文化的資産」において執行率が低かった理由は、調査委託内容の見直しを行ったほか、市史編さん調査員が計画よりも少人数となった(38.市史編さん事業)ことによる。

■達成状況 (自己評価)

全体では83%の事業が「十分達成」「概ね達成」との評価だが、1事業で「やや不十分」となった。

「やや不十分」と評価した理由は、数値目標のシンポジウム・市民向けの講演会・講座参加者

数が当初の計画よりも25%少なかった（38.市史編さん事業）ためである。

【基本目標2 彩り豊かな文化と芸術を育むまち の考察】

・全ての大分類において市民満足度が高かった。一方で、年代別に満足度をみると、20歳代は40%代と、他の年代に比べて低くなっている※。このため、若年層への啓発及び若年層が積極的に文化・芸術に触れ、参加することが重要である。第二次実施計画では、この点に着目して事業選定を行う。

※年代別にみた満足している人の割合

大分類	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	全体
芸術・文化	46.3%	44.1%	53.6%	56.6%	60.4%	59.2%	54.7%
文化的資産	46.3%	50.5%	54.5%	55.2%	57.4%	57.2%	54.5%
文化の創造	46.4%	64.7%	61.6%	61.0%	56.0%	58.3%	58.3%

基本目標3 安全で快適な魅力あるまち

私たちは、安全で快適な都市環境のもとで、人と人が交流する魅力に満ちたまちづくりを進めます。

○施策の方向

- (1)安全で安心して暮らせるまちをつくります
- (2)快適な暮らしを支え、質の高い都市基盤整備を進めます
- (3)自然、歴史、社会環境などを活かして、バランスのとれた魅力ある土地利用を図ります
- (4)産業を振興し、活力あるまちをつくります

○大分類別 市民意向調査結果

大分類	市民満足度 (前回平成22年調査結果との増減差)		
	満足している	満足していない	わからない
危機管理・消防	46.0%(↑16.5%)	33.0%(↑14.6%)	21.0%(↓31.1%)
治水	53.6%(↑19.8%)	27.2%(↑5.8%)	19.2%(↓25.6%)
防犯	49.6%(↑30.0%)	36.2%(↓4.6%)	14.2%(↓25.4%)
交通安全	41.8%(↑24.5%)	41.8%(↓13.4%)	16.4%(↓11.1%)
ユニバーサルデザイン	50.8%(↑40.4%)	28.6%(↑4.4%)	20.6%(↓44.8%)
道路・交通	43.3%(↑32.9%)	37.9%(↓25.8%)	18.8%(↓7.1%)
下水道	53.5%(↑18.3%)	24.9%(↓1.2%)	21.6%(↓17.1%)
住宅・住環境	46.2%(↑17.8%)	30.3%(↓2.6%)	23.5%(↓15.2%)
公共施設	53.0%(↑27.7%)	22.9%(↓5.1%)	24.1%(↓22.6%)
土地利用	43.9%(↑19.0%)	27.3%(↑0.7%)	28.8%(↓19.7%)
景観	50.3%(↑18.4%)	23.6%(↓8.7%)	26.1%(↓9.7%)
商工業	46.8%(↑28.4%)	23.5%(↑0.3%)	29.7%(↓28.7%)
都市農業	49.1%(↑36.4%)	23.2%(↑5.8%)	27.7%(↓42.2%)
水産業	41.7%(↑37.6%)	23.7%(↑9.0%)	34.6%(↓46.6%)

■市民評価（市の取り組みに対する満足度）

市の取り組みに対する満足度は、全ての大分類において、「満足している」人の割合が前回の調査よりも高くなった。しかし、「交通安全」「道路・交通」「土地利用」「水産業」では、満足している市民の割合が低い。

○大分類別 事業費等

大分類	事業数	事業費			達成状況評価(事業数)			
		計画額(千円)	実績額(千円)	差額(実績-計画) 執行率	十分 達成	概ね 達成	やや 不十分	不十分
危機管理・消防	4	582,008	504,033	△77,975 86.6%	4			
治水	3	1,724,751	616,299	△1,108,452 35.7%	3			
防犯	1	30,075	27,352	△2,723 90.9%		1		
交通安全	5	555,319	283,662	△271,657 51.1%	2	1		2
ユニバーサルデザイン	2	381,000	390,768	9,768 102.6%	2			
道路・交通	6	7,092,920	4,556,998	△2,535,922 64.2%	4	1	1	
下水道	1	6,727,000	5,900,214	△826,786 87.7%	1			
住宅・住環境	3	6,884,273	6,820,078	△64,195 99.1%	2			1
公共施設	3	3,734,606	4,404,384	669,778 117.9%	2		1	
土地利用	1	342,697	360,221	17,524 105.1%				1
景観	2	15,578	5,897	△9,681 37.9%	2			
商工業	3	3,005,325	2,996,742	△8,583 99.7%	3			
都市農業	3	63,445	64,640	1,195 101.9%	1	1		1
水産業	2	17,567	6,464	△11,103 36.8%	1			1
計	39	31,156,564	26,937,752	△4,218,812 86.5%	27	4	2	6

■事業費

基本目標3全体での執行率は86.5%であった。しかし、「治水」「交通安全」「景観」「水産業」においては、執行率は35.7%~51.1%と低い。

「治水」において執行率が低かった理由は、用地買収の遅れにより工事が延期となった(44.都市基盤河川改修事業)、財政状況により鬼高排水機場の整備が先送りとなった(46.排水施設整備事業)ことによる。

「交通安全」において執行率が低かった理由は、当初の計画通りに土地の買収が行えなかった(48.まごころ道路整備事業)、申請件数が伸びず補助金が小額となった(49.狭あい道路対策事業)、耐震化を予定していた橋りょうについて、撤去を含めた検討を行うこととし工事を見送った(50.橋りょう補修事業)、自転車安全利用の街頭指導を委託ではなくマナー条例指導員が兼務で行う方式にした(52.自転車安全利用啓発事業)ことによる。

「景観」において執行率が低かった理由は、修景にかかった費用が計画よりも安価となった(68. 中山参道地区街なみ環境整備事業)ことによる。

「水産業」において執行率が低かった理由は、東日本大震災後に地震・津波対策への対応が必要となったため、予定していた実施設計が先送りとなった(76. 市川漁港整備事業)ことによる。

■達成状況（自己評価）

全体では79.5%の事業が「十分達成」「概ね達成」との評価だが、2事業で「やや不十分」、6事業で「不十分」となった。

「やや不十分」と評価した理由は、立体化の推進について、外環道路の供用開始後の状況を見極めるものとした(56. 京成本線立体化事業)、武蔵野線沿線地域の街づくりの検討について、関係機関との協議・調整の中で実現性判断のための十分な回答が得られなかったこと、また、民間企業等の需要動向を把握しこれまでに提案されたプロジェクト案についての更なる検証が必要となった(112. 市街化調整区域の土地利用)ためである。

また、「不十分」と評価した理由は、平成25年度より原則、市が道路整備や測量分筆を行う制度としたが、それまでは市民に一部の費用負担が生じるものであったことから実績が伸びず当初計画との差異が生じた(49. 狭あい道路対策事業)、耐震化を予定していた橋りょうについて、撤去も含めた検討を行うこととなったことから耐震化を実施せず、当初計画との差異が生じた(50. 橋りょう補修事業)、数値目標として設定した相談件数が、当初の計画に比べ79%少なかった(63. 住宅住宅リフォーム推進事業)、当初の計画では造成工事・施設建設に着手する予定であったが事業認可取得に留まったこと(67. 塩浜地区整備事業)、当初の計画では農産物のブランド化を目指していたが、その後の実証実験及びアンケート調査等により、市民はブランド化ではなく安全安心な野菜を求めていることがわかったことから、ブランド化を行わず24年度をもって事業を終了した(74. 市川市農産物ブランド化推進事業)、東日本大震災後に見直された地震・津波対策への対応が必要となったことから、当初計画よりも進捗が遅れた(76. 市川漁港整備事業)ためである。

【基本目標3 安全で快適な魅力あるまち の考察】

- ・満足度が低かった「交通安全」「道路・交通」「土地利用」「水産業」の施策は、着実に事業を進めていかなければならない。街の質を高めるには、引き続き生活道路の改善、下水道や主要道路の整備など、都市基盤整備に積極的に取り組んでいく必要がある。
- ・「危機管理・消防」は、今後起こりうる災害に対応する重要な施策である。第二次実施計画では、満足度を高めるとともに自助、共助を支援する視点が重要である。



基本目標4 人と自然が共生するまち

私たちは、快適で住み良い環境を目指して、その保全と創造に努め、自然と共生するまちを次世代に引き継いでいきます。

○施策の方向

- (1) 自然を大切にし、やすらぎと潤いのあるまちをつくります
- (2) 環境への負荷の少ないまちをつくります
- (3) 廃棄物の発生を抑制し資源循環型のまちをつくります

○大分類別 市民意向調査結果

大分類	市民満足度 (前回平成22年調査結果との増減差)		
	満足している	満足していない	わからない
自然環境	49.8%(↑22.7%)	22.0%(↓0.8%)	28.2%(↓21.9%)
公園・緑地	49.7%(↑23.3%)	25.1%(↓10.5%)	25.1%(↓12.9%)
河川・水辺	48.7%(↑26.0%)	23.2%(↓5.0%)	28.1%(↓21.0%)
地球環境	42.2%(↑34.4%)	30.5%(↑0.7%)	27.2%(↓35.2%)
生活環境	48.4%(↑22.7%)	29.2%(↑1.7%)	22.5%(↓24.3%)
資源循環型社会	65.3%(↑40.7%)	18.4%(↑2.3%)	16.4%(↓42.9%)

■市民評価 (市の取り組みに対する満足度)

市の取り組みに対する満足度は、全ての大分類において、「満足している」人の割合が前回の調査よりも高くなった。しかし、「資源循環型社会」以外は、満足している市民の割合が5割を切っている。

○大分類別 事業費等

大分類	事業数	事業費			達成状況評価(事業数)			
		計画額(千円)	実績額(千円)	差額(実績-計画)執行率	十分達成	概ね達成	やや不十分	不十分
自然環境	2	10,693	3,837	△6,856 35.9%	2			
公園・緑地	4	766,905	160,122	△606,783 20.9%	1		1	2
河川・水辺	2	138,000	84,480	△53,520 61.2%	1		1	
地球環境	2	95,410	81,290	△14,120 85.2%	1	1		
生活環境	2	256,632	172,621	△84,011 67.3%	1		1	
資源循環型社会	3	12,195,201	11,559,849	△635,352 94.8%	3			
計	15	13,462,841	12,062,199	△1,400,642 89.6%	9	1	3	2

■事業費

基本目標4全体での執行率は89.6%であった。しかし、「自然環境」「公園・緑地」においては、執行率はそれぞれ35.9%、20.9%と低い。

「自然環境」において執行率が低かった理由は、(仮称)生物多様性いちかわ戦略の策定を事業者へ委託して行う予定であったが職員による内部業務とした(78. 生物多様性地域戦略・自然環境保全再生指針事業)、市民啓発を目的にパンフレットを作成する予定であったが市公式Webサイトを活用し啓発を行った(79. 環境学習推進事業)ことによる。

「公園・緑地」において執行率が低かった理由は、交渉が整わず用地取得と整備工事が先送りとなった(80. 国府台緑地整備事業、81. 小塚山公園整備拡充事業)、サイン設置工事を先送りとした(83. 水と緑の回廊事業)ことによる。

■達成状況(自己評価)

全体では66.7%の事業が「十分達成」「概ね達成」との評価だが、3事業で「やや不十分」、2事業で「不十分」となった。

「やや不十分」と評価した理由は、当初計画していたサインの設置工事が行えなかった(83. 水と緑の回廊事業)、干潟的環境への取り組みである塩浜二丁目地先への砂付けについて県担当部署と協議を続けているが、県と市との考えに相違があり合意に至っていない(84. 三番瀬保全再生事業)、監視機器の更新について計画期間中に見直しを行ったことにより、当初計画していた台数との差異が発生した(88. 大気常時監視整備事業)ためである。

また、「不十分」と評価した理由は、当初計画していた通りに用地の買収が進まなかった(80. 国府台緑地整備事業、81. 小塚山公園整備拡充事業)ためである。

【基本目標4 人と自然が共生するまち の考察】

- ・東日本大震災以降、再生可能エネルギーに対する期待が高まっている。「地球環境」の施策の満足度が特に低いことから、第二次実施計画では、再生可能エネルギーの利用を促進し、省資源・省エネルギーを更に推進する必要がある。
- ・まちの魅力を高めるために、街並み環境の整備や、市民が身近で自然と触れ合うことができる空間の整備が必要である。

基本目標5 市民と行政がともに築くまち

私たちは、豊かな未来を築くために市民と行政が協働してまちづくりを進めます。

○施策の方向

- (1) 市民と行政とのパートナーシップのもとでまちをつくります
- (2) まちづくりのための新しいコミュニティをつくります
- (3) 分権時代にふさわしい行財政運営を推進します
- (4) 情報通信技術を市民生活の向上に活かします

○大分類別 市民意向調査結果

大分類	市民満足度 (前回平成22年調査結果との増減差)		
	満足している	満足していない	わからない
協働・市民参加	52.6%(↑42.6%)	18.8%(↑5.8%)	28.6%(↓48.4%)
情報の発信・提供	58.8%(↑40.5%)	14.5%(↓4.8%)	26.7%(↓35.7%)
地域コミュニティ・市民活動	53.5%(↑37.4%)	24.5%(↑8.4%)	22.1%(↓45.7%)
政策展開	48.3%(↑37.8%)	17.4%(↓6.5%)	34.3%(↓31.3%)
行政体制	42.2%(↑34.9%)	23.3%(↓3.5%)	34.5%(↓31.4%)
窓口・相談機能	58.9%(↑25.3%)	19.1%(↓2.1%)	21.9%(↓23.3%)
財政運営	53.3%(↑44.8%)	17.1%(↓5.2%)	29.6%(↓39.6%)
広域行政	50.5%(↑39.9%)	16.1%(↓0.2%)	33.5%(↓39.6%)
情報化	57.9%(↑36.8%)	15.3%(↑0.6%)	26.7%(↓37.5%)

■市民評価 (市の取り組みに対する満足度)

市の取り組みに対する満足度は、全ての大分類において、「満足している」人の割合が前回の調査よりも高くなった。しかし、「政策展開」「行政体制」については、満足している市民の割合が5割を切っている。

○大分類 事業費等

大分類	事業数	事業費			達成状況評価(事業数)			
		計画額(千円)	実績額(千円)	差額(実績-計画) 執行率	十分 達成	概ね 達成	やや 不十分	不十分
協働・市民参加	1	0	0	0 —	1			
情報の発信・提供	3	127,012	129,593	2,581 102.0%	2	1		
地域コミュニティ・市民活動	2	277,779	272,474	△5,305 98.1%	1	1		
政策展開	3	24,912	35,539	10,627 142.7%	2	1		
行政体制	1	48,818	42,798	△6,020 87.7%	1			
窓口・相談機能	1	45,270	42,216	△3,054 93.3%	1			
財政運営	2	849,519	1,459,859	610,340 171.8%		1	1	
広域行政	1	500	500	0 100.0%	1			
情報化	3	496,548	495,136	△1,412 99.7%	3			
計	17	1,870,358	2,478,115	607,757 132.5%	12	4	1	

■事業費

基本目標5全体での執行率は132.5%であった。

「政策展開」においてe-モニターシステムのリニューアルを行いスマートフォン対応とした(99.e-モニター制度運営事業)こと、「財政運営」において平成23年度に財政調整基金条例を改正し決算剰余金の1/2を基金に積み立てるようになった(104.財政調整基金積立金)こと等により当初の計画額を上回る実績額となった。

■達成状況(自己評価)

全体では88%の事業が「十分達成」「概ね達成」との評価だが、1事業で「やや不十分」となった。

「やや不十分」と評価した理由は、平成24及び25年度に基金の取り崩しを行い現在高が計画を下回った(104.財政調整基金積立金)ためである。

【基本目標5 市民と行政がともに築くまち の考察】

- ・「市民と行政がともに築くまち」においては、市民や行政が多様な主体との協働によりまちづくりを進めていくことが重要である。このため、第二次実施計画では、協働や地域コミュニティについて重点的に取り組んでいく必要がある。
- ・「行政体制」では、現在抱える行政課題に対応した事業を、的確に選定する必要がある。